



環境保護庁(EPA) – デジタル戦略

環境保護庁のミッション: 市民の健康保護と自然環境を保護すること。

このミッションを達成するために、以下を実行する。

- 1) 関連法律の作成支援 ([Regulations](#)、[Enforcement](#))、
- 2) 環境関連事業への補助金 ([Grants](#))、
- 3) 環境問題研究、
- 4) 環境教育

このミッションを達成するのがEPAデジタル戦略である。

2009年1月21日に[大統領覚書 \(Memorandum on Transparency and Open Government\)](#)において、オープンガバナメント: 透明 (Transparency)、参加 (Participation)、協働 (Collaboration) を発表した。

EPAは以下のように具体的な行動をとっている。

2012年5月23日にデジタルガバナメントの大統領令 [Building a 21st Century Digital Government](#) を発表した。そして連邦政府としての実施戦略 [デジタル政府戦略](#) を示した。それを受けて、EPAは [デジタル政府戦略](#) を開始した。このサイトは定期的に更新されている。

2013年5月9日に[大統領令 13542](#) と [大統領覚書 \(M-13-13\)](#) でオープンデータ政策を発表し、政府機関による公開データの普及を促進した。EPA はオープンデータ目標を達成するためのアプローチを要約したEPAの [オープンデータ実施計画](#) を作成した。定期的な更新はEPAの [オープンイニシアチブホームページ](#) で行っている。

EPAの[オープンガバナメント](#)、[デジタルガバナメント](#)、オープンデータの関連を図1に示す

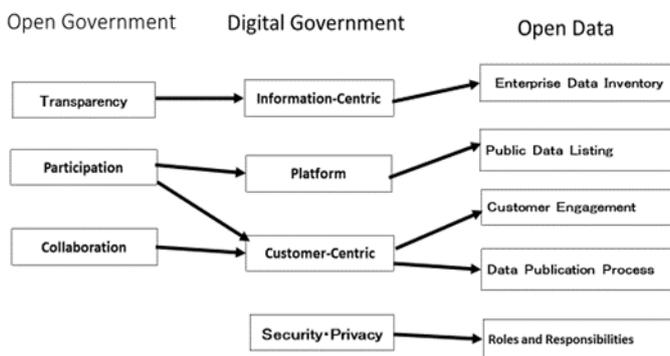


図 10G-DG-OD の関連図

これを達成するための [デジタル政府戦略日程計画](#)

戦略目標 A.情報中心(第一原則)

戦略目的 1.オープンデータ、コンテンツ、および Web API を新しい情報基盤とする。

実施計画:1.2.すべての新しい IT システムが、オープンデータ、コンテンツ、[Web API の](#)ポリシーに従っていることを確認し、EPA データと Web サービスを使用してアプリケーションを構築する開発者のために、EPA のリソースを [Developer Central](#) を通して提供する。(現在進行中)

1.2.3 [ガバナンス・ツール](#)

EPA は、[レジストリ・システム](#)を通じて、さまざまなツールとレジストリコンテンツ(再利用可能なコンポーネントサービス [Reusable Component Services](#)、環境データセットゲートウェイ [Environmental Dataset Gateway](#)、データエレメントレジストリ [Data Element Registry](#))などを提供している。

EPA は、庁全体の API 戦略 [Agency-wide API Strategy](#) の策定を通じて [APIs](#) を文書化する努力を続けている。提案された戦略は、[18F's API standards](#)に基づいている。

1.2.4.オープンデータ目録作成・日程計画 [Enterprise Data Inventory](#) (EDI)

2005 年、[環境データセットゲートウェイ\(EDG\)](#)メタデータカタログを作成し、2013 年全 EPA 機関にデータセットを EDG に登録するよう要請した。

1.2.5.オープンデータの日程計画を実施する

[IT システムのレジストリ\(READ\)](#)を使用して、EDG に登録されていない可能性のあるデータセットを特定しカタログ化している。(進行中)

1.2.6.顧客からのフィードバックプロセスを開発する。

EPA は一般市民と対話プロセス(パブリックミーティング/フォーラム、ウェブサイト上のフィードバックボタン、ウェブセミナー、メールボックス、FOIA オンライン、ヘルプデスクなど)、さまざまな方法で、市民と対話するシステムを開発する。最近[オンライン公開データフォーラム](#)を立ち上げた。このフォーラムは[環境データセットゲートウェイ\(EDG\)](#)、[Developer Central](#)、[Digital Strategy](#) のウェブサイトからアクセスできる。

1.2.7 [データセット公開プロセス](#)を公開する。

公開に関する多くの方針と手順は、[EPA GeoPlatform Publishing ワークフロー標準操作手順と環境データセットゲートウェイ\(EDG\)](#)でデータ公開の詳細が記載されている。

戦略目的 2.既存の価値の高いデータとコンテンツを Web API を通じて利用可能にする。

全省庁は共通のオープン標準を使わなければならない。この標準はモバイルのウェブサイトにも適用する。

実施計画:2.1 新しいオープンデータ、コンテンツ、商務省の [Web API ポリシー](#)に準拠するための第一候補として、価値の高いデータまたはコンテンツを含む少なくとも 2 つの既存の主要な顧客対応サービスの特定を顧客と連携を図る。(完了)

2.1.1.[カスタマーエンゲージメント](#) を実施する。

いろいろな方法で、外部関係者との積極的に進めている。その 1 つが [Developer Central](#) を通じての対話型パブリックフォーラムである。パブリックフォーラムは[環境データセットゲートウェイ\(EDG\)](#)、[Developer Central](#)、[Digital Strategy](#) のウェブにある質問・コメントボタン Post Questions and Comments から得られる。

2.1.2.システム(データセット)のリストの作成する。

[Facility Registry Service \(FRS\)](#):FRS は、90 以上の異なるソースから約 400 万のデータを統合するマスターデータ管理システムである。これらのデータは、[EnviroFacts](#) をサポートする重要なデータセットである。さらに、[FRS](#) は緊急時対応コミュニティ、不動産部門のリスク評価にも使用されている。

実施計画:2.2 Web [API](#) を介して少なくとも 2 つの既存の主要な[顧客対応システム](#)で高価値のデータとコンテンツを公開する。(完了)

2.2.2. 2 つ以上 Web API を利用可能にする。

Web API1:[Regulations.gov](#)-連邦政府の文書の公開サイト

Web API2: [Envirofacts](#)-大気、水、土地に影響を及ぼす可能性のある環境活動に関する複数の EPA データベースへのアクセスを提供サイト

戦略目標 B.共有プラットフォーム(第二原則)

戦略目的 3.デジタルサービスイノベーションセンターとアドバイザリーグループを設立する

戦略目的 4.デジタルサービスの提供を改善するための機関内[ガバナンス](#)の確立する。

実施計画:4.2.EPA の全体のデジタルサービスの開発と提供を確立する。(完了)

[デジタル戦略](#)ガバナンスの情報は [EPA Web Guide](#) にある。

戦略目的 5.連邦政府全体の資産管理および調達モデルをモバイルモデルへ移行する。

実施計画 5.2.モバイルデバイスとワイヤレスサービス契約の[インベントリ](#)を作成する。(完了)

実施計画 5.3.すべての新しいモバイル調達の評価方法について政府全体の契約システムを評価する。(完了)

EPA は現在、[FSSI Wireless BPAs](#) の下で [Cellular Services BPA](#) を再調達しており、移動性の向上を評価し続け、効率性の向上を図っていく。GSAの [Blanket Purchase Agreements \(BPA\)](#) (一括購入契約)

戦略目標 C.顧客中心(第三原則)

戦略目的 6.最新の情報ツールと技術を使った、より良いデジタルサービスの提供をする。

実施計画:6.3 すべての新しいデジタルサービスが[改善指針](#)に沿っていることを確認する。(進行中)

戦略目的 7.モバイルで最優先顧客向けサービスの改善をする。

実施計画:7.1.モバイルを使って顧客と顧客向け最優先サービス改善する。(完了)

7.1.1. [顧客エンゲージメント](#)を作成する。

市民参加は EPA 全体のプログラムの特徴である。EPA は、パブリックミーティングやフォーラム、ウェブサイト上のフィードバックボタン、ウェブセミナー、メールボックス、FOIA Online、ヘルプデスク、ハクトーン、アプリの課題など、さまざまな方法でデータを公開している。最近、[データ・データセット Q&A](#) を立ち上げた。そして [Google アナリティクス](#) を使用して、最も頻繁にアクセスされ、一般に公開された価値の高いデータセットを特定している。これらのデータは [Developer Central](#) で紹介している。

7.1.2. データセットの利用者優先順位付けをする

[How's My Waterway?](#) アプリケーションは、地元の水問題がユーザーにどのように影響するかの情報を提供している。モバイルでもアクセス出来るサイト: [全米EPA事務所](#)、[環境問題トピックス](#)、[サンフランシスコ Delta Watershed 地域環境](#)も提供している。

実施計画: 7.2. モバイル利用のために少なくとも 2 つの既存の優先顧客対応サービスを最適化し、既存のサービスを改善する。(完了)

7.2.1. モバイルサービス API を実装する。

[戦略データ行動計画 \(SDAP\)](#) は既存の情報資産へのアクセスの増加を評価するための計画を提示している。

戦略目的 8. デジタルサービスを改善するために稼動状況と顧客満足度を測定する。
(完了)

8.2.1. パフォーマンス測定ツールを実装する。

GSA の [tracking code](#) は、EPA のウェブサイト: [U.S. Environmental Protection Agency](#)、[About the Office of Water](#)、[Urban Waters Federal Partnership](#) の [直帰率](#)、訪問回数、訪問時間、訪問あたりのページ数などのすべての訪問ベースの指標をおかしくしている。(2017.8.25 にGSAのウェブ評価サービス [Digital Analytics Program \(DAP\)](#) が制定された)

8.2.2. 顧客満足度ツールを実装する

EPA は、[ForeSee](#) 社の [米国顧客満足度指数 \(ACSI\)](#) 調査ツールを使用して、公開 Web サイトの顧客満足度を測定している。その結果は年次、四半期レポートとして、[ForeSee](#) 社の [満足度インデックス](#) として発行されている。

戦略目標 D. セキュリティ・プライバシー・プラットフォーム (第四原則)

[DHS/DOD/NIST](#) が担当する。

[環境保護庁 \(EPA\)](#) のデジタル戦略サイトは図 2 に示すようにオープンガバナメントとデジタルガバナメントを表示している。



図 2 [環境保護庁 \(EPA\) のデジタル戦略サイト](#)